

果樹生産・利用技術の実証研究

被災地の早期復興のため、結実が早く高い収益性が期待できる小果樹類等の栽培の適性を確認するとともに、労働時間を大幅に削減可能な省力栽培技術を実証し、出荷期間の拡大や機能性を活用した加工品など、収益性の向上を図る。

内容

1. 国産小果樹類の新規市場開拓のための省力生産技術・加工品の開発

- レッドカーランツ及びカシスの栽培技術
- 病虫害防除及び果実障害回避技術

2. 塩害回避を目的とした根域制限栽培システムの構築

- 塩害を回避するためのブドウ等の根域制限栽培

3. ブドウ「シャインマスカット」の周年・安定供給及び環境負荷低減技術の開発

- 着果管理の省力技術
- 超早期加温栽培・収穫期延長・長期保存技術
- 農薬削減技術

4. ジョイント栽培によるクリ「ぼろたん」の省力・多収生産技術の開発

- ジョイント樹形管理技術
- 周年供給技術



果樹栽培実証圃場（巨理郡山元町内）



根域制限栽培



クリ「ぼろたん」